

## 彩色いろいろ

経験からしか学べない

巷の話題は、『サッカー・ワールドカップ』一色！？サッカーが、なぜこれほどまで世界中の人に興味を抱かせるか？要因の一つは、ルールのわかりやすさにあると思います。サッカー経験の有無に関わらず、誰もがその世界に入り込みやすいスポーツです。しかし細かい部分では、楽しむ箇所が人それぞれ異なります。サッカー経験者は、未経験者と違う視点で競技を見ています。私は未経験者側に入りますが、経験者と一緒にサッカーを見ると、「何言ってんの？」という瞬間に多く出会います。「あのポジション取りがいいんだよな」とか「ボールにかかる回転がすげえ」とか、彼らはよくわからない言葉(^\_^;)を發します。反対に私は、単純に“ゴール！”の瞬間や、キーパーのファインセーブにすごさや素晴らしさを感じます。

同じようなことが、レゴのレッスンにおいても起きます。先日もある生徒が、友だちの作品を目にし「ここすごい！！」と目を輝かせ見入っていました。ちなみのその部分は、作品のメイン部ではなく、ちょっとした仕掛けが施されているだけなんです。多くの方は、その部分に価値を見出すことはありません。実は、目を輝かせていた生徒も、似たような仕組みを自分の作品に取り入れていたのです。自分で悩んだから考えたから、仕組みの完成度の高さを実感できたのでしょう。

**人は、経験したからこそ見えてくるものがたくさんあり、価値や奥深さを感じることができます。**

仕事を選ぶ際に「好きなものを基準にするとよい」という言葉がよく使われます。では、好きなことはどうすれば見つかるのか？物事を経験していく中で、その人が感じるしかありません。運良く経験した中から好きなものと出会えれば良いのですが、そう単純にはいかず悩んでいる人が数多くいるのも現実です。また、好きなものが仕事として成立するものではないかもしれません。

「じゃあ、どうすれば？」

答えの一つは、「数多く経験する」だと思います。とりあえず、何でもやってみる、こうした姿勢を持つことで、好きなことに出会える確率が高まります。

行動を起こした先には、いいことばかりが待つわけではありません。中学入試も同じですね。しなくとも、公立の中学に進学できる、それでも中学入試の世界に飛び込んでみる。そこでは、自分の力の無さを見せつけられることもあるでしょう。不合格という現実と向き合わなければならぬかもしれません。多くの誘惑にも打ち勝たなければなりません。犠牲にするものや、苦勞をたくさん感じることもあるでしょう。ですが、中学入試を経験した人しか見られないもの、感じられないものがあるはずですよ。

今年の夏休み、海外に1ヶ月留学する小学5年生の生徒がいます。たくさんの甘い経験も辛い経験もすることでしょう。どれもが価値ある経験です。これまたちなみに、私もその生徒と同学年の頃に、そうした機会を勧められたのですが、尻込みをして行きませんでした。

今思うと……。

「ああしとけばよかった、こうしておけば……」も人生の経験の一つですね。

# 教室の風景

## アミューズメントパーク

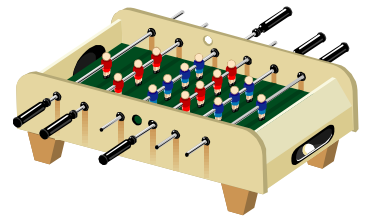
関東地方もとうとう梅雨入りし、洗濯物の生乾きの二オイに悩まされる季節になりましたね(うちだけかしら?)。

先日、イベントとして行われた「アミューズメントパーク」には、たくさんの子供達が来場し大盛況でした。作品を作った生徒は、何週間もかけていろいろな工夫や仕掛けのあるゲームを作っていました。どの作品も本当にすばらしかったです。

今回の製作の条件が、「小さい子でも楽しく遊べるゲーム」でした。一度作った物を、他のレッスンを受けに来ている子に試してもらい改良を加えたり、説明書に絵を入れたり、注意点を細かく書いたり、それぞれ工夫していましたが、実際には多くの作品が遊んでいる途中で壊れてしまい、直さなければならないことが多々ありました。

世の中に出回っている様々な物も、作る人が使う人のことを考え、作る、試す、失敗、改良を繰り返し、出来上がったのだと思います。そういった実際の物作りの難しさや楽しさを少しでも感じてくれたら嬉しいです。

今回、作品を作ったのはジュニアクラスの2年目以上の生徒でしたが、遊びに来た他のクラスの生徒も、新しいアイデアや意欲が湧いてきたのではないのでしょうか。



私達も、またこうしたイベントが行えるよう、試行錯誤を繰り返していきたいと思います。

インストラクター 宇賀神 薫美

## 今月の作品紹介



“闘技場”

ラジコン操作による闘いが繰り広げられています。実況中継をするアナウンサーの席は可動式です。



“海の生き物&釣り竿”  
海の生物がかわいらしく表現されています。みんな釣りあげられるのでしょうか？